

ロータリー財団

新補助金説明資料

国際ロータリー第2650地区
財団補助金委員会

新補助金について

ロータリー財団の奉仕活動が大幅に増え続けている中、ロータリアンは手続きの簡素化を望むと同時に、自分たちの奉仕の成果をもっと確実なものにしたいと求めるようになりました。財団のプログラムは、このロータリアンの望みに応え、変わりゆく世界のニーズに対応すべく進化を遂げていく必要があります。

未来の夢計画の新たな補助金構成の下で、私たちはこのニーズに応えていくことができると確信しています。

● 2013-14年度から 全世界で新補助金を 実施 します。

目的

未来の夢計画の新たな補助金は以下を目的としています。

- ・財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- ・ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組むことにより、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- ・世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- ・意志決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ・ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

成果

- ・緊急な人道的ニーズに効果的に応える力が増す
- ・地区財団活動資金（DDF）の使用に関する決定権が増す
- ・補助金申請の事務処理が合理化される
- ・著名な団体と協同で活動する機会が増す
- ・協同組織と組むことによりリソースが強化される
- ・クラブ、地区、ロータリー財団に対する認識が増す

● 新補助金の構成について御説明致します。

新しい補助金構成モデルの下では、財団は2つのタイプの補助金を支給することになります。

新地区補助金

クラブと地区が、特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むことを可能にするものです。地区に一括に支払われるこの補助金は、現在の地区補助金をモデルとしています。地区は、地区財団活動資金（DDF）の最高50%までを、これらの補助金に充てることができます。

グローバル補助金

財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する6つの重点分野の一つにおいて、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトに資金を提供します。

- ・ 平和と紛争予防／紛争解決
- ・ 疾病予防と治療
- ・ 水と衛生設備
- ・ 母子の健康
- ・ 基礎的教育と識字率向上
- ・ 経済と地域社会の発展

～ グローバル補助金には3種類あります ～

クラブ&地区計画補助金

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。
グローバル補助金は、クラブや地区が立案した教育的・人道的補助金プロジェクトに対し、国際財団活動資金（WF）からマッチング（資金の組み合わせ）を行うものです。

パッケージ・グラント

- ・ ロータリー財団が立案し、協同組織と合同で、長期的で大規模なプロジェクトを実施するもの
- ・ パッケージ化されたプロジェクトは、競争的審査プロセスを経て、国際財団活動資金、財団の収益、協同組織からの寄付によって資金が提供されます。
- ・ 地区はDDFを寄贈し、スポンサーとなることが出来る。

ロータリー・センター

世界平和フェロシッププログラム。
(WF、冠名基金、冠名寄付を財源とします)

参考

パッケージ・グラントにおける協同組織について

ロータリー財団は、長期的な重点分野のいずれかを専門とする団体と長期的な協同関係を結んでいくことになります。これらの協同組織は、財団との協同主催またはロータリアンが参加するプロジェクトや活動で、財政的支援、技術的支援、あるいは外部への働きかけの援助を提供します。こうした協同関係は、財団補助金の成果を高めるだけでなく、ロータリーの活動をより広く認知してもらう機会にもなります。

協同組織は、100万ドルレベル以上の資金を保持している団体を想定。

協同組織の選定は財団本部の事務レベルで行う。

以上を簡単にまとめますと次ページの様な新財団プログラム概要となります。

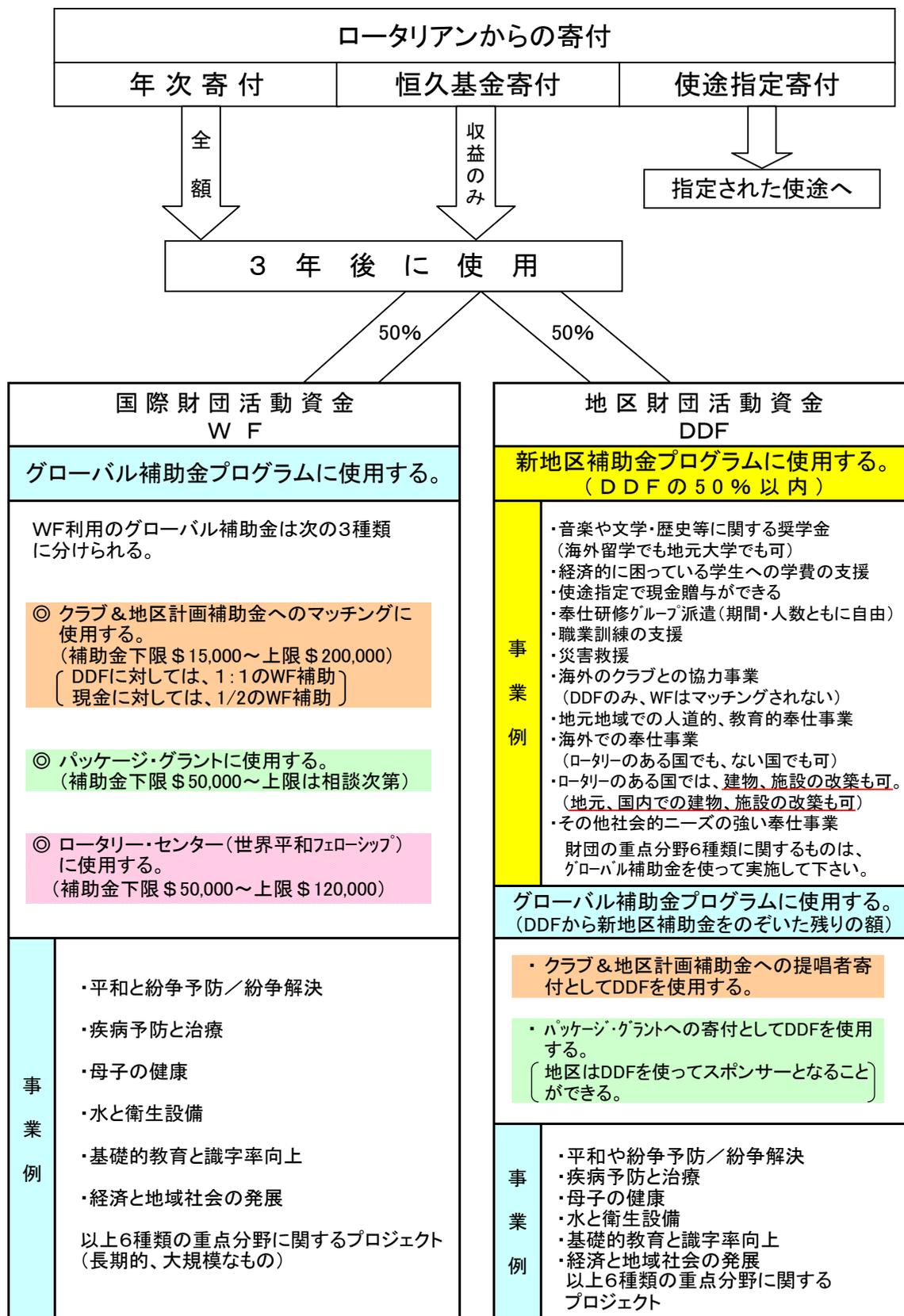
新

財団プログラム概要

<p>新地区補助金プログラム</p>	<p>●地区に一括して授与される補助金</p> <p>DDFの50%以内</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の選んだ人道的、教育的プロジェクトのどちらにも使える。 1プロジェクト当りの補助額に上限も下限もない。 地元地域社会でも海外でも事業を実施できる。 個別プロジェクト報告書を財団に提出しなくて良い。 使用管理表、収支管理表、会計明細書、領収書等を地区で保管しておく。 時々、無作為に地区に対して財団本部からの監査がある。 DDFのみでWFは使えない。 	<p>〈事業例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽や文学・歴史等に関する奨学金。 (海外留学でも地元の大学に行く場合でも可) 経済的に困っている学生への学費の支援 使途指定で現金贈与が出来る。 奉仕研修グループ派遣(期間、人数ともに自由) 職業訓練の支援 災害救援 海外のクラブとの協力事業。 地元地域社会での奉仕事業。 海外での奉仕事業(ロータリーのある国でもない国でも可) ロータリーのある国では、<u>建物、施設の改築も可</u>。 (地元、国内での建物、施設の改築も可) その他、社会的ニーズの強い奉仕事業
<p>グローバル補助金プログラム</p>	<p>クラブ&地区計画補助金</p> <p>補助金の下限 \$ 15,000.~上限 \$ 200,000. (\$ 10万以上は、管理委員会の承認が必要)</p> <p>●クラブ・地区が6つの重点分野に関するプロジェクトを立案実施するもの。</p> <p>現金やDDFの提唱者寄付にWFがマッチングされプロジェクトが実施される。</p> <p>WFとの組み合わせによりプロジェクトを実施する場合</p> <p>DDFに対しては1:1、現金に対しては1/2のWFが交付される</p> <hr/> <p>パッケージ・グラント</p> <p>補助金の下限 \$ 50,000.~上限は相談次第</p> <p>●財団が立案し、協同組織と合同で、長期的で大規模なプロジェクトを実施するもの。</p> <p>WFと協同組織からの資金で実施</p> <p>(地区は、DDFを使って、スポンサーとなることができる。)</p> <hr/> <p>ロータリー・センター</p> <p>補助金の下限 \$ 50,000.~上限 \$ 120,000.</p> <p>WF100%で実施</p>	<p>グローバル補助金は、次の6種類の重点分野に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和と紛争予防 / 紛争解決 疾病予防と治療 母子の健康 水と衛生設備 基礎的教育と識字率向上 経済と地域社会の発展 <p>〈事業例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 6種類の重点分野を専攻する奨学金(1年から4年間)(WF50%、DDF50%) 6種類の重点分野に関する研究グループ交換 6種類の重点分野に関する多額のマッチング・グラント その他、6種類の重点分野に関する事業 改築・建築も可能 ロータリーのある国でのみ 事業実施可 <p>〈事業例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 6種類の重点分野に関する事業 <p>(※)協同組織とは…</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団本部の事務レベルでさがします。 100万ドルレベル以上の資金を保持していること 専門技術団体等も視野 <p>・世界平和フェロウシップ</p>
<p>ポリオ・プラス・プログラム</p>	<p>補助金の下限、上限ともになし</p> <p>ポリオ・プラス基金100%で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ポリオ・プラス (ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としている。) ポリオ・プラス・パートナー (ポリオ発生地域で活動するロータリアンを援助し、 ①全国予防接種日のための地域社会動員、 ②ポリオ・ウイルス免疫所への援助、 ③ポリオ担当役員・疫病専門医への援助活動 の三つのニーズに目標をおき、ポリオの撲滅に必要な用具や補給品の費用やその他活動費用等を支援することを目的としている。)

【 新 】

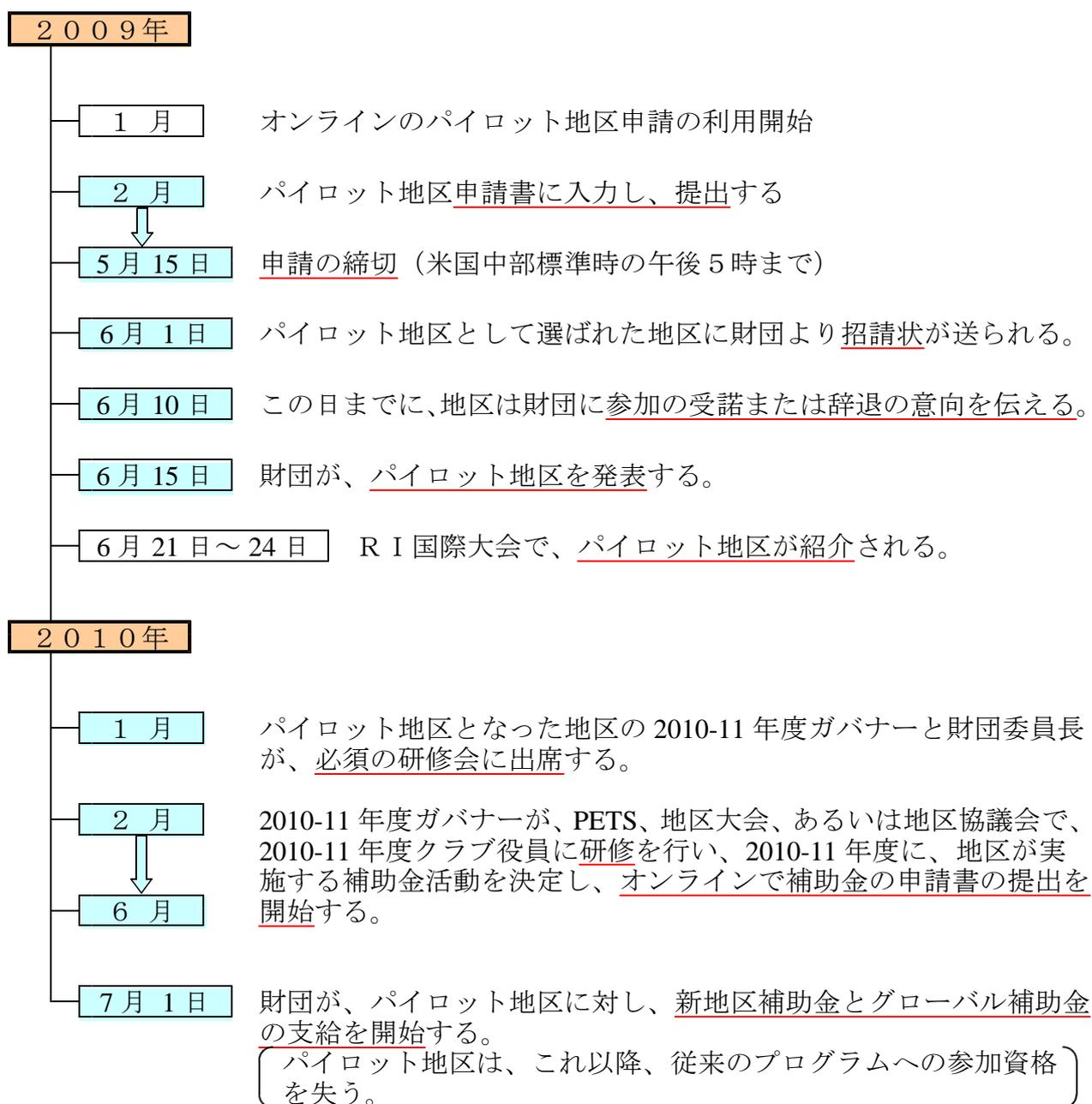
シェアシステムによる 財団寄付金の使用の流れ



● **パイロット地区に付いて御説明致します。**

- ・ 新補助金制度は、**2010 - 11 年度より試行開始** されます。
- ・ 世界で 100 程度のパイロット地区 を選考し、試行されます。
- ・ パイロット地区の申請から実施までのタイムスケジュールは次の通りです。

パイロット地区のタイムスケジュール



〔 2010 年～2013 年で、パイロット地区は、従来の補助金プロジェクトでまだ 未完のものがあれば、これをすべて完了させること。 〕

- パイロット地区となるためにいくつかの参加条件があります。

パイロット地区への参加条件

パイロットに参加する地区は、以下に同意しなければならない。

- ① パイロットへの参加について、地区内クラブの3分の2以上の承認を得ること。
- ② 2010-11年度 地区ガバナーと地区財団委員長に義務づけられた研修を完了することを含め、参加資格要件を満たすこと。
- ③ 会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区大会、地区協議会のいずれかで、2010-11年度クラブ役員に研修を提供し、補助金の申請を希望する地区内クラブが資格を満たせるようにすること。
- ④ 試験期間となる3年間（2010-11、2011-12、2012-13）を通じて試験段階に参加し、この期間は、ロータリー財団の従来のプログラムに参加しないこと。
(ただし、ポリオ・プラスと国際問題研究のためのロータリー・センターを除く)
- ⑤ 新しい補助金の構成を十分にテストするため、試験期間の3年間は毎年、新地区補助金とグローバル・グラントに申請すること。
- ⑥ グローバル・グラントは、他の試験地区と協同で行うプロジェクトにのみ使用すること。
- ⑦ 既に承認され、実施された財団補助金と奨学金について報告書を提出すること。
- ⑧ 2010年7月1日より前に承認されていない従来のプログラムについては、補助金の申請を取り消すこと。
- ⑨ 試験段階への地区の参加について、定期的に報告書を提出し、アンケート調査に答えること。
- ⑩ 補助金の申請や、ロータリー財団との連絡には、パイロット用のウェブサイトを利用すること。
- ⑪ 必要であれば、既にロータリー財団に提出済みの2010-11年度DDFの配分を変更すること。
これは国際親善奨学生と研究グループ交換チームを派遣する地区の計画に影響が出る可能性がある。
- ⑫ 未来の夢計画に関して、ロータリー財団から提供されるすべての情報に目を通すこと。
- ⑬ ロータリー財団からの助言に基づき、新しい補助金の構成と一致するよう、地区ロータリー財団委員会と小委員会の内容を調整する。例えば、パイロット地区は、試験期間直前の地区ロータリー財団委員長の任期を2010年6月30日までとし、その任を解き2010年7月より新しい委員長を任命しなければならない。新しい委員長の任期は、試験期間の3年間とすること。

- 最後に **現行プログラム** がどのような取扱いとなるかに付いて御説明申し上げておきます。

現行プログラムはどうか

- ・ GSE チームメンバーの職業、または奨学生の専攻分野が重点分野と関連している 場合、→ **グローバル補助金対象**

重点分野に該当しない場合 → **新地区補助金を活用**

- ・ 現行のボランティア奉仕活動補助金で賄われている活動と同様の活動
→ **新地区補助金を活用**

- ・ 2010-11 年度を最後として廃止される現行プログラム

- ・ マルチ・イヤー国際親善奨学金
- ・ 文化研修のための国際親善奨学金
- ・ 大学教員のためのロータリー補助金
- ・ 3-H 補助金
- ・ ボランティア奉仕活動補助金
- ・ 災害復興補助金

- ・ 2012-13 年度を最後として、現行プログラムはすべて廃止される。

- ・ パイロット地区は、2010 年 7 月 1 日以降、財団の従来（現行）のプログラムに参加することは出来ない。

- ・ パイロット地区は、2010 年～2013 年で従来（現行）の補助金プロジェクトで未完のものがあれば、これをすべて完了させる。
(完了とは、財団に最終報告書が提出され、承認され、closed となった状態を言う)

〈追補〉

新地区補助金、グローバル補助金、補助金業務サイクルに付いての追加説明です。

● 新地区補助金

- ・ **新地区補助金** は、地元社会と海外における小規模なプロジェクトを支援するため、地区に一括で支払われる補助金です。
- ・ 地区は、1 ロータリー年度内に、利用可能な DDF の 50 % までを **新地区補助金に使う** ことが出来、この補助金は、財団が関与することなく、地区が管理するものです。
- ・ **新地区補助金** は、奨学金や職業訓練の支援に充てたり、奉仕活動の後援、災害救援、地元や海外での奉仕プロジェクトの実施に充てたりするなど、さまざまな活動に使用することが出来ます。
- ・ パイロット地区は、パイロット地区でない地区のクラブと協力して、**新地区補助金プロジェクト** を実施することも出来る。
- ・ 第 2650 地区の **2010-11 年度の新地区補助金** の額は、**約 27 万ドル強** です。

● グローバル補助金

- ・ **クラブ・地区が立案したグローバル補助金** のプロジェクトには、WF からの組み合わせ資金 (マッチング) が提供される。
(事業例) ・ 重点分野を専攻する奨学生や、重点分野に関わる仕事に就く職業研修チームの派遣
 - ・ 外国のクラブや地区と協同で実施する大規模な人道的プロジェクト
- ・ **クラブ・地区の計画するグローバル補助金の申請** については、正式な申請書を提出する前に、簡単な提案書を提出することとなります。
重点分野に当てはまるかを確認するためです。
このステップを踏むことにより、申請書が承認される可能性が高まります。
- ・ **クラブ・地区の計画するグローバル補助金プロジェクト** で、米貨 10 万ドル以上のものについては、管理委員会の承認が必要となる。
- ・ 財団は協同組織とともに **パッケージ・グラント** を立案する。
- ・ **パッケージ・グラント** は、重点分野を専門とする団体との長期的な協同関係の下で実施されるプロジェクトに使用される。
- ・ **パッケージ・グラント** の資金は 100 %、WF と協同組織からもたらされる。
ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたる。
- ・ 地区は、DDF を寄贈して、**パッケージ・グラント** の スポンサー となることもできます。

- ・ グローバル補助金は、現行のシステムと同じような方法で、財団により管理されます。
- ・ グローバル補助金の下限は、米貨 15,000 ドルです。
小規模なプロジェクトには、新地区補助金を充てることが出来ます。
- ・ グローバル補助金を使用出来るのは、パイロット地区とそのクラブのみに制限されています。
〔パイロット地区でないところの地区・クラブと協同でプロジェクトを実施〕
〔する場合には、グローバル補助金は使えない。〕

グローバルの奨学金

- ・ 申請書を従来通り、ロータリー財団に提出し、ロータリー財団が指定校を決める。
- ・ 承認基準は、ロータリー財団が決めた語学テストの点数等になる。
- ・ 期間は1年から4年です。
- ・ 奨学金の金額は3万ドル以上です。
- ・ 奨学金の資金源は、DDF50%、WF 50%です。
- ・ 人数は、地区にDDFがある限り、何人でも申請できます。
- ・ 留学先の地区がパイロット地区になっていなければならない。

グローバルの職業研修チーム

- ・ 職業研修チームは、3名以上、上限なしです。
- ・ 期間の設定はありません。

グローバルのマッチング・グラント

- ・ 申請方法、授与と受諾の条件等、ほぼ従来通りです。

グローバルのプロジェクト予算規模

- ・ グローバル・グラントは、補助金の下限が15,000ドルとなっており、総予算としては30,000ドル以上のプロジェクトにしか使えません。
6重点分野であっても、総予算30,000ドル以下のプロジェクトは、新地区補助金を使うこととなる。

● 業務サイクル

- ・ ロータリー財団は、一年を通じて、全補助金の申請書を受け付けます。
- ・ 申請書は、計画年度、実施年度にかかわらず提出することが可能です。
〔プログラム開始とともにすぐ資金を受け取れるよう、計画年度に申請書を提出する方が良い。〕
- ・ 地区が、1ロータリー年度に受領できる新地区補助金は一口です。
- ・ 地区は、補助金を受け取ってから12ヶ月以内に、資金の配分を示す最終報告書を財団に提出しなければならない。
- ・ 補助金の申請は、DDFが確定している年度までの分であれば、新地区補助金もグローバル補助金も事前申請できる。